

経営比較分析表（平成30年度決算）

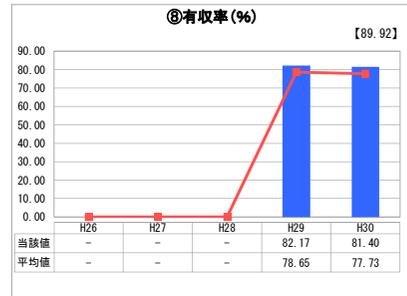
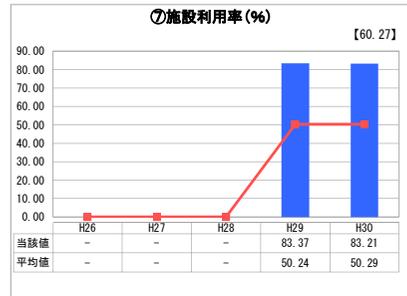
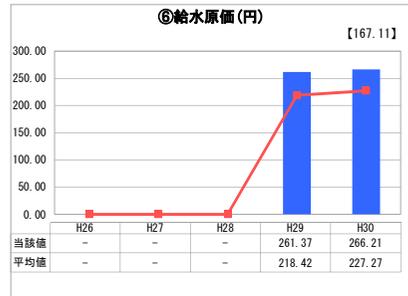
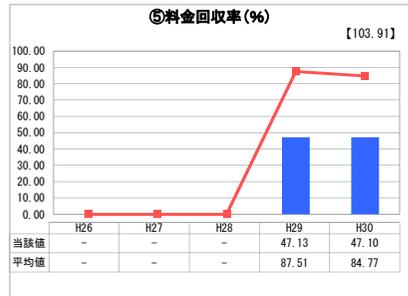
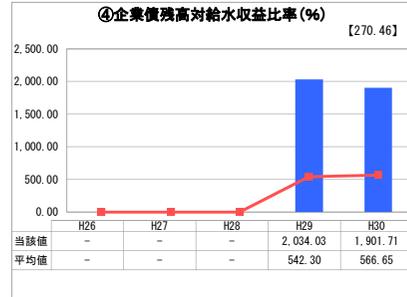
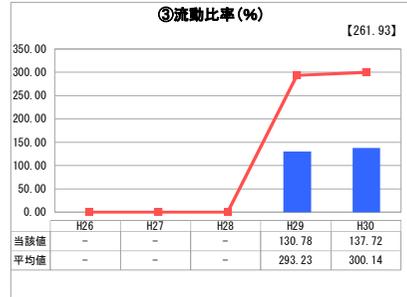
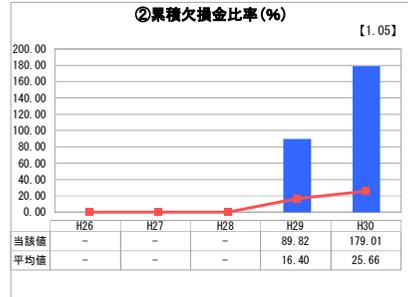
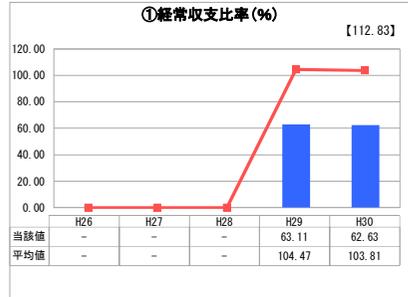
和歌山県 日高川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	38.15	95.15	2,210	

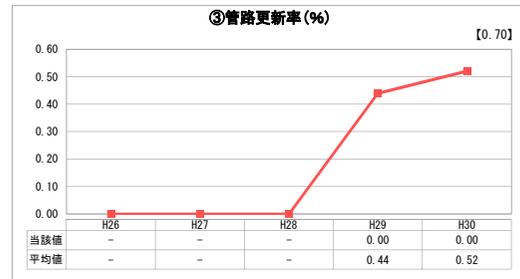
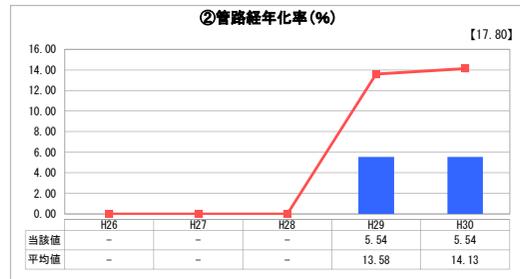
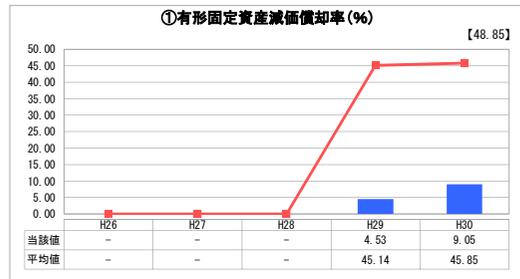
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,944	331.59	29.99
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,411	45.16	208.39

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、料金回収率ともに100%を下回っており、今後も人口減少による料金収入の減少や老朽化対策に伴う費用の増加が懸念されることから、継続的に原価の削減に取り組み、適正な料金の見直しを含めた検討を行う必要がある。
 累積欠損金比率も相当高い数値であるため経営改善を図る必要がある。
 流動比率は100%を上回っているが、企業債残高対給水収益比率は昨年度より下がっているものの類似団体と比較してもかなり高く、償還と利息の支払いが企業経営を圧迫している。
 施設利用率は概ね適正と考えられ、有収率も類似団体よりも高い数値となっている。今後も漏水調査を行い率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

近年は資金面の問題もあり管路の更新が行っていないが、耐用年数に達し更新時期を迎える水道施設については、必要な修繕を行いながら長寿命化を図っていく。

全体総括

経常収支は赤字経営で、高い数値の累積欠損金が発生しているのが現状であり、今後も厳しい経営状況となるのが予想される。施設の更新等に備えた財源の確保を図るため、更なる費用の削減や投資の効率化に取り組み、適正な料金の見直しも含めながら、持続可能な経営を行っていきけるよう努めなければならない。